

食費管理・コスト感覚の醸成

- ・生産コストを理解する
- ・合理的な価格形成について理解する

生産コストを理解する

本資料に活用した資料（①、②、③の該当ページを編集・加工しています。）

1	農産物生産費統計	https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/	農産物生産費（個別経営体）
2	営農類型別経営統計	https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/einou/	営農類型別経営統計（個別経営体）
3	畜産物生産費統計	https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_tikusan/	畜産物生産費

その他参考となる関連資料

1	フェアプライスプロジェクト	https://www.maff.go.jp/j/shokusan/fair-price-project/	品目ごとの現状を知る
2	令和7年度 食料・農業・農村白書 全文	https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r7/zenbun.html	第4章 国民一人一人の食料安全保障・持続的な食料システム 第3節 合理的な費用を考慮した価格形成（PDF）
3	食品流通段階別価格形成調査	https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/syokuhin_kakaku/	令和4年度食品流通段階別価格形成調査（青果物調査）結果（PDF）

生産コストを理解する

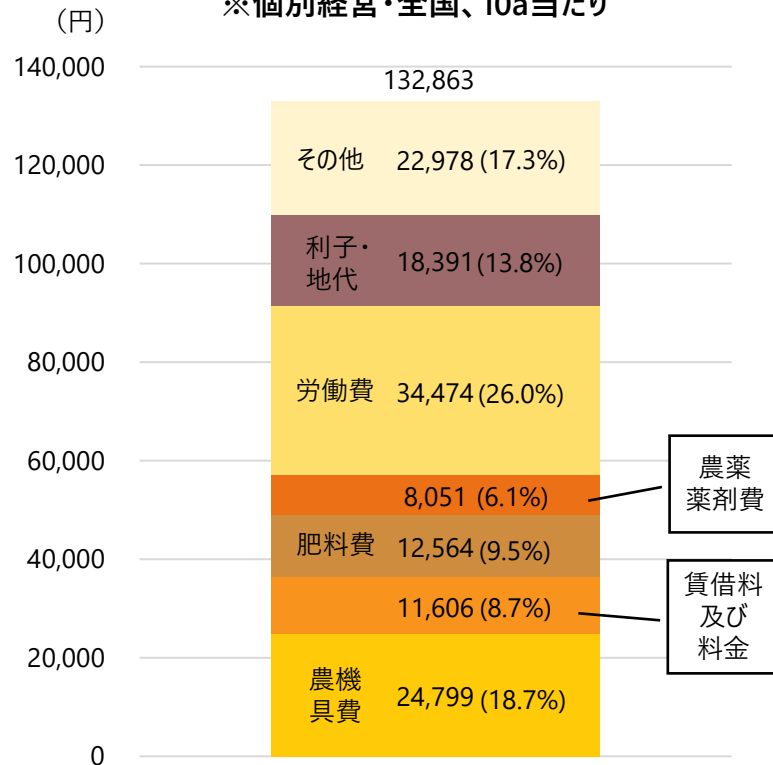
食品価格は、労働費や資材費など様々な生産コストによって構成されています。ここでは、米や野菜の生産費の内訳から、農産物がどのような費用から成り立っているのかを紹介します。

品目別の生産コスト（米・野菜）

米の生産コスト

- 米について、労働費が26.0%と最も多く、次いで農機具費18.7%、利子・地代13.8%、賃借料8.7%の順となっています。
- 作付面積の規模によって、生産費の水準は大きく異なります。

米の全算入生産費（2023年度）
※個別経営・全国、10a当たり

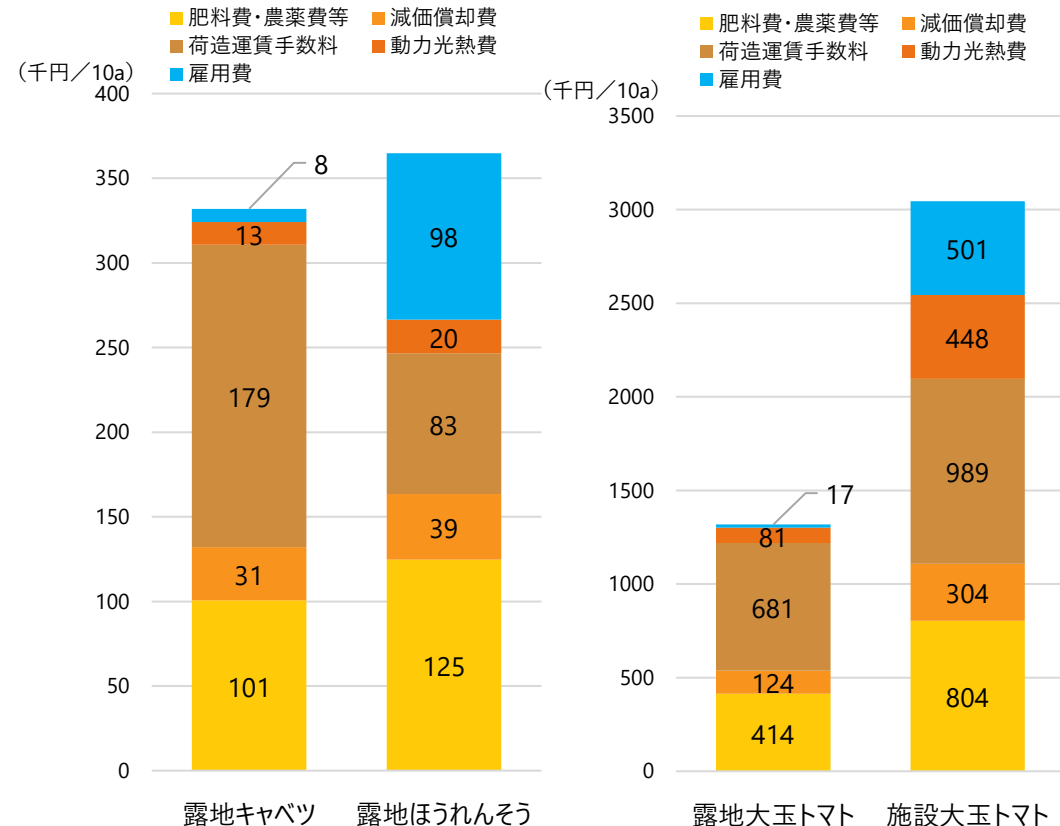


農林水産省HP：「農産物生産費統計」を基に作成

野菜の生産コスト

- 野菜について、品目や栽培方法（露地/施設）によって異なるものの、どの品目も荷造運賃手数料に大きな費用が発生しています。

主要野菜の生産コストの例（2023年度）



農林水産省HP：「農産物生産費統計」を基に作成

生産コストを理解する

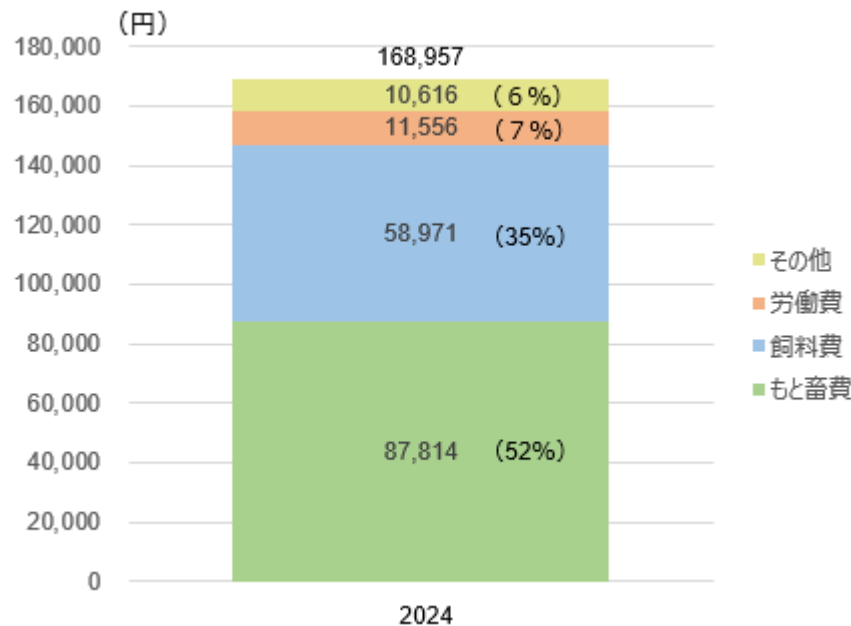
食品価格は、労働費や資材費など様々な生産コストによって構成されています。ここでは、肥育牛・豚の生産費の内訳から、畜産物がどのような費用から成り立っているのかを紹介します。

品目別の形成価格（肥育牛・肥育豚）

肥育牛（和牛）の生産コスト

- 肥育牛（和牛）の生産コストについて、もと畜費が52%、飼料費が35%を占めています。

肥育牛（和牛）の生産費（2024年度）



資料：農林水産省「畜産物生産費統計」を基に作成

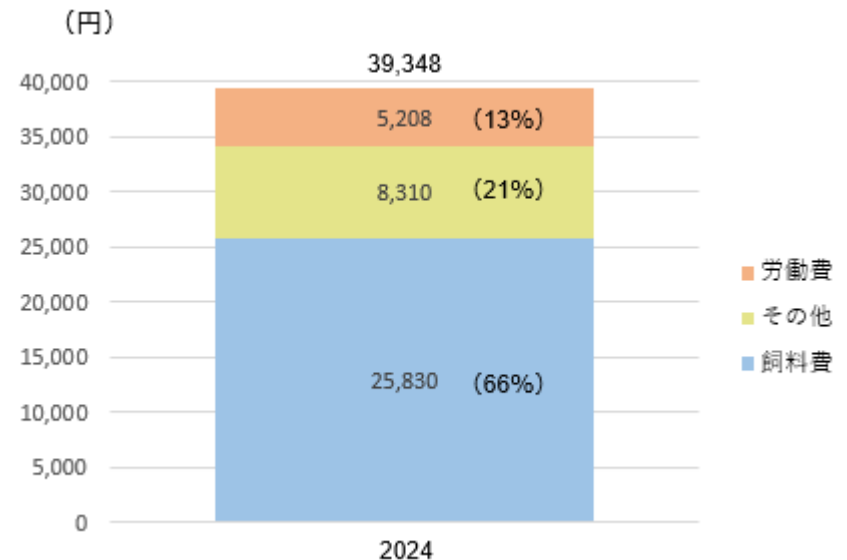
注：去勢若齢肥育牛生体100kg当たりの物財費及び労働費の全国平均

注：その他には、敷料費、光熱水料及び動力費、その他の諸材料費、獣医師料及び医薬品費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、建物費、自動車費、農機具費、生産管理費を含む

肥育豚の生産コスト

- 肥育豚の生産コストについて、飼料費が66%を占めています。

肥育豚の生産費（2024年度）



資料：農林水産省「畜産物生産費統計」を基に作成

注：肥育豚生体100kg当たりの物財費及び労働費の全国平均

注：その他には、種付料、もと畜費、敷料費、光熱水料及び動力費、その他の諸材料費、獣医師料及び医薬品費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担、繁殖雌豚費、種雄豚費、建物費、自動車費、農機具費、生産管理費を含む

合理的な価格形成について理解する

本資料に活用した資料（①、②の該当ページを編集・加工しています。）

1	令和7年度 食料・農業・農村白書 全文	https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r7/zenbun.html	第4章 国民一人一人の食料安全保障・持続的な食料システム 第3節 合理的な費用を考慮した価格形成（PDF）
2	2025年版農業法人白書	https://d2erdyxclmbvqa.cloudfront.net/wp-content/uploads/20260626170347/260626_2025hojinhakusho.pdf	農業経営をとりまく課題と取組み（P21）

その他参考となる関連資料

1	みんなで支える日本の食卓	https://www.maff.go.jp/j/shokusan/think-food-agri/soy.html	みんなで支える日本の食卓（豆腐）
2	食品流通段階別価格形成調査	https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/syokuhin_kakaku/	令和4年度食品流通段階別価格形成調査（青果物調査）結果（PDF）
3	フェアプライスプロジェクト	https://www.maff.go.jp/j/shokusan/fair-price-project/	フェアプライスプロジェクト

合理的な価格形成について理解する

近年、農業資材価格の上昇によって生産コストが上昇する中、価格転嫁の難しさが主要な経営課題として挙げられており、持続可能な供給に要する費用を考慮した価格形成の重要性が高まっています。

農業のコスト構造と価格形成の課題

農産物と農業生産資材の価格動向と課題

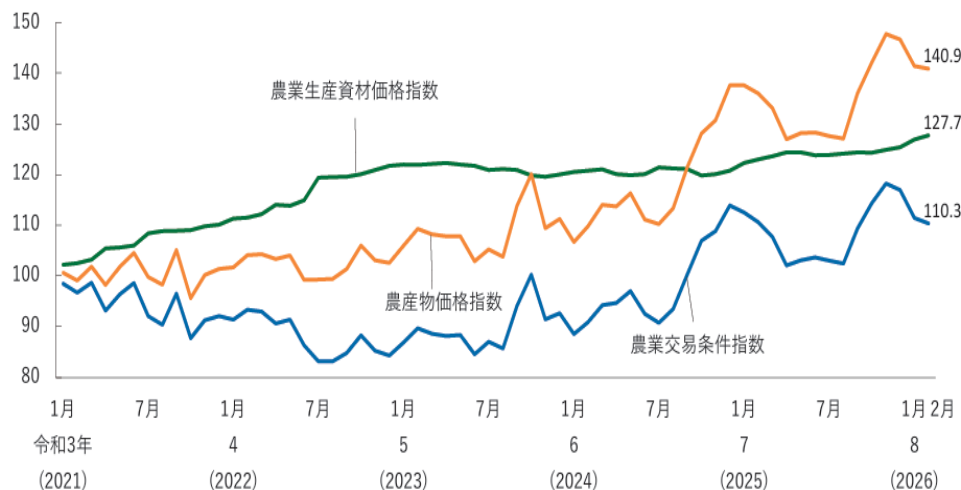
- 資材価格の高騰により、農業生産コストが上昇しており、農産物価格への適切な価格転嫁が課題となっています。

【農業生産資材価格指数】農業経営体が購入する農業生産資材価格に関する指数

【農産物価格指数】農業経営体が販売する農産物の生産者価格に関する指数

【農業交易条件指数】農産物価格と農業生産資材価格の相対的な関係の変化を示す指数

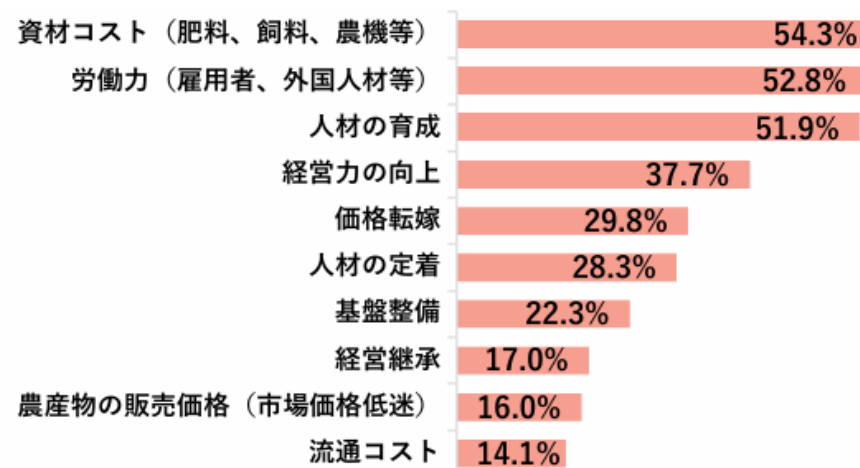
農業生産資材及び農産物の価格指数と農業交易条件指数



農業法人が抱える主な経営課題

- 公益社団法人日本農業法人協会によると、農業法人の経営課題について、「資材コスト(肥料、飼料、農機等)」や「価格転嫁」等のコストにかかる項目が上位を占める結果となりました。
- 資材価格の高騰は、農業や食品産業のコスト増につながります。これらのコストが適切に価格へ転嫁されなければ、食料の安定供給にも影響するため、コスト構造への理解を踏まえた合理的な価格形成が重要です。

農業法人の経営課題（上位10位まで）



（公）日本農業法人協会HP：「2025年版農業法人白書」より

合理的な価格形成について理解する

食料安全保障の確保のためには、合理的な費用を考慮した価格形成への理解が重要です。農林水産省では、生産現場の実態やコスト高騰の背景を伝えるため、「フェアプライスプロジェクト」を展開しています。

フェアプライスプロジェクト（消費者理解の醸成）



フェアプライス プロジェクト



- 持続的な食料供給の実現の観点から、消費者をはじめとする食料システムの関係者に対し、食品の生産・製造・流通に関わる実態、コスト高騰の背景等についてわかりやすく伝える「フェアプライスプロジェクト」を通じて、各段階での合理的な費用を考慮した価格形成に向けた理解醸成と関係者の行動変容の促進を図る。
- コンセプト「売る人にも、買う人にも、育てる人にも。フェアでいい値を、考える。」

これまでの取組内容

値段のない スーパーマーケット

食品スーパーを模した会場で、消費者がコストなどの食料供給の現状について学んだ後、実際の商品を手に取り、商品ごとの「みんなにとってフェアな値段」がいくらのかを考える消費者参加型イベント(総来場者数:9,886名)



東京駅前のKITTE丸の内他で実施

動画の発信

生産現場の窮状や、小売段階において販売価格の決めることの難しさなど、食品の生産・製造・流通の実情への理解を広げるため、各種動画コンテンツにより広く発信（動画数:32本）



生産現場の窮状、こうした状況に対応策を講じる頑張りの生産者の生の声を発信したインタビュー動画



生産と消費の間を繋ぐ食品スーパーを舞台に、食品の価格を決めることの難しさを描いたドラマ仕立ての動画



親子等向けに食品の値上げ等の背景を伝える、アニメ作品『あはれ！名作くん』（Eテレ（2016～2022））コラボ動画

R7年度取組内容

値段のない スーパーマーケット

昨年度好評だった「値段のない スーパーマーケット」は、以下を実施

- ・東京会場（①丸の内行幸通り、②代々木公園）
 - ①東京都味わいフェスタ(10/24～26)
 - ②ファーマーズ&キッズフェスタ2026(2/28～3/1)
 - ・大阪会場 梅田駅前のOS広場(11/1～2)
 - ・食育の一環として、学校での出前授業（明星中学校（東京都府中市）、焼津市立焼津中学校）
- なお、Web体験版は6月に農水省HPで公開済み



値段のない 豆腐屋さん

品目を豆腐に絞り、サプライチェーン全体の流れやコストの内訳を展示から学び、体感してもらいイベント

10月9日（木）～12日（日）
東京駅前のKITTE丸の内で実施

動画の発信

食料システム法により事業者間の価格交渉の現場がどのように変わるのかを伝えるドラマ（昨年度の続編）

